

# 専大スポ

No.342

大会結果 予定は体育会ホームページ 専大ホームページ スポーツからアクセスで確認ください  
専大スポーツ編集部 web(http://sensupo.com) 大会結果を配信いたします

## 浦谷 篠田 ペア

# 準優勝

スペイン・コルドバ市で行われた世界学生バドミントン選手権(7月24〜29日)で、浦谷夏未(4・尚志高)・篠田未来(文4・富岡高)ペアが女子ダブルスで準優勝に輝いた。

浦谷と篠田は国別対抗の団体戦で日本のベスト8進出に大きく貢献。個人戦のミックスダブルスでも浦谷が三浦光将選手(日体大)と、篠田が松居圭一郎選手(日体大)とペアを組み、ともにベスト16入りした。

女子ダブルスは準決勝



▲ 準優勝した浦谷(左)・篠田ペア=写真は6月の関東学生選手権

まで1ゲームも落とさず、圧倒的な力で決勝へ進む。決勝では第2シードの中国人選手と対戦。相手のショットの強さにてこずり、前衛で勝負ができず0-2で敗れた。

浦谷は「まさか準優勝できるとは思っていません。海外の選手はミスが少なく、ショットも強かった。試合を楽しみ、集中してプレーできたことが結果につながった」。篠田は「初めて日本代表になれてうれしかった。今後は世界大会の準優勝者として恥ずかしくないように振る舞いたい。より上を目指して頑張りたい」と振り返った。

帰国直後に行われた全日本学生ミックスダブルス選手権(8月2、3日、日体大健志台キャンパス)にも世界学生選手権と同じペアで出場。浦谷・三浦選手ペアがベスト4、篠田・松居選手ペアがベスト8となった。

(小川中緒梨・文3)



▲ 表彰式で笑顔を見せる田添=日本卓球協会提供

卓球のITTFワールドツアー・ベラルーシオープン(8月21〜24日、ミンスク市)で田添健汰(商1・希望が丘高)が男子シングルのU-21クラスで準優勝した。

今大会は新ルールの特

## 男子単U-21

# 田添が準優勝

ライアルや海外仕様のボールを使用するなど、国内大会とは勝手が異なっていた。田添は、準々決勝で自身より世界ランキング上位のポーランド人選手に勝利し、準決勝はフランス人選手にストレート勝ち。「日本人同士の対決になるだろうと予想していた」決勝まで勝ち上がる。三部航平選手(青森山田高)との7ゲームフルセットの決勝戦は、激戦となったものの惜しくも敗れた。

田添は「決勝で高校生に負けたのが本当に悔しい」と語る。一方で「ヨーロッパとアジアの卓球スタイルの違いを実感した」と話し、今後の飛躍につながる手応えを口にした。



「専大スポーツ」最新号が9月12日に発行された。12号となる今回は、関東大学サッカーリーグで4連覇を目指すキーマン3人が表紙を飾る。また、ソチオリンピック・スキーフリースタイル女子・ハーフパイプ銅メダリストの小野塚彩那さん(平22商)のスペシャルインタビューや、バレーボール部創部以来初となる東日本インカレ優勝を祝して最強メンバーを紹介する。

学内ラックで配布しているので、ぜひご覧ください。定期購読も募集しています。ご希望の方は専大スポーツのホームページにお問い合わせください。(岡野希春・経済2)

## V

# フリー57kg級 中村

# グレコ85kg級 与那覇

## レスリング・全日本学生選手権



▲ 得意のアンクルホールドからローリングを決める中村



▲ 果敢な攻めを見せる与那覇

イル57kg級で中村倫也(商2・花咲徳栄高)が、グレコローマンスタイル85kg級で与那覇竜太(経営2・浦添工高)が優勝を果たした。

中村は初戦から順調に駒を進めるが、4回戦の開始22秒、相手の腕があるの下から入り、脳しんとうを起こす。試合は10分弱で再開されたが、中村は「支えてくれた人に感謝を伝えたい。ケガから復帰した後は、周りの励ましのお陰で練習点を許すも14-6と大差で優勝を決めた。

中村は「支えてくれた人に感謝を伝えたい。ケガから復帰した後は、周りの励ましのお陰で練習点を許すも14-6と大差で優勝を決めた。

与那覇も決勝までの4試合中3試合がテクニカルフォール勝ちと安定した試合運びを見せた。決勝は先制を許し、0-5と相手ペースで試合が進む。諦めず攻め続ける与那覇に相手のコシヨンという好機が訪れ、グランドレスリングからに臨むことができた」と話し「今は学生には負けたくないという自信がついた」と力強く語った。

与那覇も決勝までの4試合中3試合がテクニカルフォール勝ちと安定した試合運びを見せた。決勝は先制を許し、0-5と相手ペースで試合が進む。諦めず攻め続ける与那覇に相手のコシヨンという好機が訪れ、グランドレスリングから

7連続ローリングで14-5。逆転で優勝を手にした。

与那覇は「皆さんのお陰で勝てた。明治杯で負けてから誰よりも時間をかけて今大会に向けて準備していた。次はフリースタイルでも優勝したい」と話した。

また、グレコ75kg級では近藤雅貴(経営3・八幡浜工高)が3位に入賞した。(小川写真も)

## 専大スポーツ 第12号発行



「専大スポーツ」最新号が9月12日に発行された。12号となる今回は、関東大学サッカーリーグで4連覇を目指すキーマン3人が表紙を飾る。また、ソチオリンピック・スキーフリースタイル女子・ハーフパイプ銅メダリストの小野塚彩那さん(平22商)のスペシャルインタビューや、バレーボール部創部以来初となる東日本インカレ優勝を祝して最強メンバーを紹介する。

学内ラックで配布しているので、ぜひご覧ください。定期購読も募集しています。ご希望の方は専大スポーツのホームページにお問い合わせください。(岡野希春・経済2)

ゴルフ・小浦がアジア大会出場

ゴルフ部の小浦和也(商4・日章学園高)写真)が、韓国で行われる第17回アジア競技大会(2014/仁川)9月19日〜10月4日)に出場する。

小浦は男子プロツアーの福島オープン(7月31日〜8月3日、グランデイ那須白河ゴルフクラブ)でベストアマチュア賞を獲得するなど、好調なシーズンを過ごしている。9月には世界アマチュアゴルフチーム選手権(3〜13日、長野県軽井沢)が起きた。ホールインワングがなければ予選通過できなかったの、神様に感謝したい」と振り返った。

(安江祐輔・経済3)

沢72ゴルフ)にも日本代表として出場した。アジア競技大会に向けて「前から目指していたのでうれしい。最年長なので、しっかりチームを引っ張りたい」と話した。

◇

☆快挙! 2度目のホールインワン 小浦が福島オープンの第2日、17番ホールでホールインワンを達成した。2012年の日本オープンでも決めており、アマチュア選手がプロツアーで2度ホールインワンを達成したのは、記録が残る1985年以降初の快挙。「奇跡が起きた。ホールインワングがなければ予選通過できなかったの、神様に感謝したい」と振り返った。

(安江祐輔・経済3)